

# ものぐさじじいの来世

小川未明

青空文庫



あるところに、ものぐさじいさんが住すんでいました。じいさんは、若わかいときから、手足てあしを動かうごしたり、人ひとにあつて話をはなししたりすることを、ひじょうにもものぐさがつて、いつもじつとしてゐることが好きすでありました。

花はなが咲さいても、どこかへ見物けんぶつに出かけるでなし、お祭りまつがあつても、わざわざいつてみるといふ氣持きもちにもならず、一日いちにち、じつとして背せ中なかを円まるくしてすわつていました。

年としをとつてからは、ますますものぐさになつて、倒たおれている火ひばしを直なおすのもめんどろがったのであります。けれど、おじいさんは徳人とくじんとみえて、みんなから愛あいされていました。また暮くらしにも困こまらずに、終日しゅうじつ、日ひのよく当あたるところに出でて、ひなたぼつこをしていました。

おじいさんは、あまり口数くちかずはきかなかつたけれど、それは根ねがいい人ひとでありました。そうかといつて、人々ひとびとが、おじいさん、おじいさんと話はなしかけてこようものなら、それは、むずかしい顔かおをしてうるさかりました。

「おじいさん、今日こんにちは、いいお天氣てんきだから、どこかへお出でかけなさい。」と、家うちのものがいうと、おじいさんは、はげ頭あたまを空そらに向むけて、

「ああ、風が寒いから止しだ。」といいました。

それから、おじいさんは、それは、また寒がりでありました。けれど、こうした気むずかしやのおじいさんでも、子供は好きでした。

おじいさんは、ものぐさ者ですから、子供を集めて、けっしておもしろい話などをきかせるようなことはなかったが、見てにこにこ笑っていました。子供は、おじいさん、おじいさんといって、そのまわりで遊びました。そして、おじいさんが、こくり、こくりと居眠りをしますと頭の上に紙きれをのせたり、背中<sup>せなか</sup>に旗<sup>はた</sup>などを立てておもしろがって笑つたものです。

おじいさんは、子供ばかりには、いやな顔もしませんでした。

だれでも年をとると、一度は死にますように、おじいさんも、とうとうなくなる日がありました。

おじいさんは、この世にいるときに、悪いことをしなかったから極楽へいきました。すると、仏さまは、おじいさんに向かつて、

「おまえは、世の中<sup>よなか</sup>にいるときに、あまりものぐさで、他人<sup>たにん</sup>に対して、特別<sup>とくべつ</sup>によいこともしなかったかわりに、悪いこともしなかった。そして、子供<sup>こども</sup>に対してはやさしかったか

ら、なんでもおまえの望みの一つだけはきいてやる。」といわれました。

おじいさんは、頭をかしげて、なにをお願いしたらいいだろうかと考えていました。

「仏さま、私は、もう人間になつて世の中へ出るのはまっぴらでございます。もつと、のんきな安樂なものにしてくださいまし。」と願いました。

仏さまは、おじいさんのものぐさを笑われました。

さて、そんなら、なんにしてやろうかと、仏さまはお考えになりましたが、なかなかおじいさんの望みのようなものは、ちよつと見つかりませんでした。

「へびにしようか。」と、仏さまはお思ひになりました。けれど、へびは冬は寒がりですから、おじいさんには向きませんでした。

仏さまは、いろいろと考えられたすえに、

「雲にしようか。」と、お思ひになりました。雲は、はてしもない大空を、毎日、あてもなく漂つているのですから、おじいさんのようなものぐさ者には、いちばん適していました。けれど、大風が吹いたときは、急がしく駆け出さなければならぬ。これもやはりおじいさんには向きませんでした。

仏さまは、お困りになりました。そして考えぬいたすえに、ついにおじいさんを、つぎ

のようなものとしてしまわれたのであります。

はるか南の暖かな海の、人もいかなところでありました。その海中の岩かげに、ふわふわと浮かんでいる海草に、おじいさんをしてしまったのです。一日ふわふわと海の上に浮かんでいます。日の光が暖かに照らしています。波影が、きらきらと光つていきます。鳥もめつたに飛んでこなければ、その小さな島には、人も、獣物も住んでいませんでした。そして、この近傍を通る船の黒い煙すら見えませんでした。ただ岩の上に咲いた、らの白い花が、かすかに香つて、穏やかな、暖かな風にほろほろと散つて落ちるばかりでありました。

こうして、一日はたち、やがて十年、二十年とたちます。百年、二百年とたちます。けれどそこばかりは、いつも日が上がって、暮れるまで、同じような光景がつづいていました。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 2」 講談社

1976（昭和51）年12月10日第1刷

1982（昭和57）年9月10日第7刷

※表題は底本では、「ものぐさじじいの来世《らいせ》」となっています。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：富田倫生

2012年5月23日作成

2012年9月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# ものぐさじじいの来世

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>